

61年春募集

協力隊派遣受入希望調査表

昭和61年4月

NO. 1

農 林 水 産 加 工 部 門

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

J/
333.9
SE
61-1

この合本を読まれる皆様へ

受入希望調査表のなかには要請国の要望（願望）だけが強調され、
技術の範囲、程度等現場の実態についての記載が不足している場合が
結構あります。

また、隊員の資格条件についても、必ずしも記載されているとおり
ではなく、最終的にはかなり柔軟性がでてくる職種あるいは派遣国が
ありますので、この辺のところをお含みの上ご一読下さい。

青年海外協力隊事務局

15133



61年度春募集協力隊員派遣受入調査表

目 次

職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ペ ージ	職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ペ ージ	
101 食 用 作 物	1	マ レ イ シ ア	○	1	105 野 菜	1	P.ニューギニア	○	34	
	1	ケ ニ ア	○	2	106 果 樹	1	フ ィ リ ピ ン	○	35	
	1	ホ ン デ ュ ラ ス	○	3		1	中 国			
	1	ペ ル ー				1	中 国			
102 稲 作	2	ペ ル ー				1	ネ パ ー ル	○	36	
	1	ペ ル ー				1	マ ラ ウ イ	○	37	
	1	タ ン ザ ニ ア	○	4		1	セ ネ ガ ル	○	38	
	1	ザ ン ビ ア	○	5		1	ド ミ ニ カ 共 和 国			
	1	リ ベ リ ア	○	6		1	コ ロ ン ビ ア			
	1	セ ネ ガ ル	○	7		1	パ ラ グ アイ	○	39	
	1	セ ネ ガ ル	○	8		1	パ ラ グ アイ	○	40	
	1	ニ ジ ュ ー ル	○	9		1	パ ラ グ アイ	○	41	
	105 野 菜	1	フ ィ リ ピ ン	○	10	112 き の こ	1	マ レ イ シ ア	○	42
		1	フ ィ リ ピ ン	○	11		1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	43
1		マ レ イ シ ア	○	12		1	ネ パ ー ル	○	44	
1		マ レ イ シ ア	○	13		1	ス リ ラ ン カ	○	45	
1		中 国				1	ホ ン デ ュ ラ ス	○	46	
1		バ ン グ ラ デ シ ュ	○	14	115 病 虫 害	1	ホ ン デ ュ ラ ス	○	47	
1		ネ パ ー ル			116 土 壌 肥 料	1	ボ リ ヴ ィ ア	○	48	
1		ス リ ラ ン カ	○	15		1	P.ニューギニア	○	49	
1		ス リ ラ ン カ	○	16	120 農 業 土 木	1	フ ィ リ ピ ン	○	50	
1		エ テ ィ オ ピ ア	○	17		1	タ イ			
1	ケ ニ ア	○	18		1	ネ パ ー ル	○	51		
1	ケ ニ ア	○	19		1	エ テ ィ オ ピ ア	○	52		
2	タ ン ザ ニ ア	○	20		2	ケ ニ ア	○	53		
1	マ ラ ウ イ	○	21		1	タ ン ザ ニ ア	○	54		
1	セ ネ ガ ル	○	22		1	ザ ン ビ ア	○	55		
1	セ ネ ガ ル	○	23		1	ガ ー ナ	○	56		
1	セ ネ ガ ル	○	24		1	リ ベ リ ア	○	57		
1	セ ネ ガ ル	○	25		1	セ ネ ガ ル	○	58		
1	セ ネ ガ ル	○	26		2	ホ ン デ ュ ラ ス	○	59		
1	ホ ン デ ュ ラ ス	○	27		1	ド ミ ニ カ 共 和 国	○	60		
1	ド ミ ニ カ 共 和 国				8	ド ミ ニ カ 共 和 国	○	61		
1	ド ミ ニ カ 共 和 国	○	28	125 農 業 機 械	1	マ レ イ シ ア	○	62		
1	パ ラ グ アイ	○	29		1	マ レ イ シ ア	○	63		
1	パ ラ グ アイ	○	30		1	タ イ				
1	パ ラ グ アイ				4	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	64		
1	ボ リ ヴ ィ ア	○	31		2	シ リ ア	○	65		
1	ボ リ ヴ ィ ア				3	ケ ニ ア	○	66		
1	ボ リ ヴ ィ ア	○	32		1	ケ ニ ア	○	67		
1	P.ニューギニア	○	33		1	マ ラ ウ イ	○	68		

61年度春募集協力隊員派遣受入調査表

目 次

職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ペ ー ジ	職 種	要請数	国 名	調の有無 査表無	ペ ー ジ	
125 農 業 機 械	1	ザンビア	○	69	145 獣 医 師	1	パラグアイ	○	105	
	2	セネガル	○	70		5	パラグアイ	○	106	
	1	コスタリカ	○	71		146 飼 料 作 物	1	スリランカ	○	107
	1	コスタリカ	○	72		152 漁 業 協 同 組 合	1	セネガル	○	108
	1	ドミニカ共和国	○	73		153 村 落 開 発 普 及 員	1	コロンビア		
	1	パラグアイ	○	74			1	ネパール	○	109
	1	パラグアイ	○	75			1	ザンビア	○	110
	1	P.ニューギニア	○	76			1	ホンデュラス	○	111
130 養 蚕	1	フィリピン	○	77	160 食 品 加 工	1	ネパール	○	112	
	2	タイ	○	78	1	ケニア	○	113		
141 家 畜 飼 育	1	フィリピン	○	79	161 農 産 物 加 工	1	ルワンダ	○	114	
	1	フィリピン	○	80	1	コスタリカ	○	115		
	1	マレーシア	○	81	1	ホンデュラス	○	116		
	1	バングラデシュ			1	コロンビア	○	117		
	1	スリランカ	○	82	162 製 菓 ・ 製 パ ン	1	ホンデュラス	○	118	
	1	スリランカ	○	83	164 畜 産 物 加 工	1	ホンデュラス	○	119	
	1	スリランカ	○	84	166 水 産 物 加 工	1	モルディヴ	○	120	
	2	シリア	○	85	1	P.ニューギニア	○	121		
	1	マラウイ	○	86	170 森 林 経 営	1	タンザニア	○	122	
	1	ザンビア	○	87	1	タンザニア	○	123		
142 養 鶏	1	リベリア	○	88	173 生 態 調 査	1	マレーシア	○	124	
	1	ペルー			1	ドミニカ共和国	○	125		
	1	バングラデシュ	○	89	174 植 林	1	コロンビア			
	1	スリランカ	○	90		2	セネガル			
	1	パラグアイ	○	91	176 製 材	1	P.ニューギニア	○	126	
	1	ボリヴィア			177 林 産 加 工	1	ザンビア	○	127	
	1	ボリヴィア	○	92	181 漁 具 漁 法	1	フィリピン	○	128	
	1	P.ニューギニア	○	93	1	ケニア	○	129		
	1	P.ニューギニア	○	94	2	タンザニア				
	144 養 蜂	1	マレーシア			1	セネガル	○	130	
1		バングラデシュ			1	セネガル	○	131		
1		スリランカ	○	95	1	コロンビア	○	132		
1		パラグアイ	○	96	1	コロンビア				
145 獣 医 師	1	シリア	○	97	1	西サモア	○	133		
	1	ザンビア	○	98	1	ソロモン諸島	○	134		
	1	ザンビア	○	99	1	ソロモン諸島	○	135		
	1	ザンビア	○	100	1	ソロモン諸島				
	1	ザンビア	○	101	1	ソロモン諸島				
	1	ザンビア	○	102	1	P.ニューギニア	○	136		
	1	セネガル	○	103	1	P.ニューギニア	○	137		
	1	ニジェール	○	104	1	P.ニューギニア	○	138		

61年度春募集協力隊員派遣受入調査表

目 次

職 種	要請数	国 名	調の有無 査表	ページ	職 種	要請数	国 名	調の有無 査表	ページ
182 養 殖	1	フィリピン	○	139	231 鑄 造 232 鍛 造 240 溶 接 270 印 刷 280 化 学 製 品 290 小 型 造 船	1	ペ ル ー		
	1	フィリピン	○	140		1	ス リ ラ ン カ	○	171
	1	タ イ	○	141		1	マ レ イ シ ア	○	172
	1	タ イ	○	142		1	ス リ ラ ン カ	○	173
	1	中 国				2	シ リ ア	○	174
	1	中 国				1	タ ン ザ ニ ア	○	175
	1	バングラデシュ	○	143		1	モ ロ ッ コ	○	176
	1	ネ パ ー ル				1	コ ス タ リ カ	○	177
	1	ネ パ ー ル	○	144		1	タ イ		
	1	シ リ ア	○	145		1	マ レ イ シ ア	○	178
	1	セ ネ ガ ル	○	146		1	マ レ イ シ ア	○	179
	1	コ ス タ リ カ	○	147		1	バングラデシュ		
	1	コ ロ ン ビ ア	○	148		1	バングラデシュ		
	1	コ ロ ン ビ ア				1	P.ニューギニア	○	180
201 陶 磁 器	1	スリランカ	○	149					
	1	ザンビア	○	150					
	1	ルワンダ	○	151					
	1	ボリヴィア	○	152					
210 竹 工 芸	1	エチオピア	○	153					
	1	ルワンダ	○	154					
	1	ドミニカ共和国							
	1	コロンビア							
211 木 工	1	P.ニューギニア	○	155					
	1	マレーシア	○	156					
	1	エチオピア	○	157					
	1	マラウイ	○	158					
	1	ガ ー ナ	○	159					
	1	ガ ー ナ	○	160					
213 皮 革 工 芸	1	P.ニューギニア	○	161					
	1	マラウイ							
221 自 動 車 板 金	1	西 サ モ ア	○	162					
222 軽 金 属 板 金	1	スリランカ	○	163					
230 冶 金	1	エチオピア	○	164					
	1	エチオピア							
	1	ケ ニ ア	○	165					
	1	ザンビア	○	166					
231 鑄 造	1	フィリピン	○	167					
	1	マレーシア	○	168					
	1	ネ パ ー ル	○	169					
	1	ザンビア	○	170					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 2 日

調査者氏名 福永敬 (音)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Penanaman	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 10 食用作物	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Unit Pemimpin Kemajuan Rakyat (日本語): 人民発展指導局					
② 隊員勤務先名称: Village Improvement Centre 日本語名称 (村落改善センター) 所在地: Kudat, Sabah 主要都市 (コタキナバル) から 200 キロ					
③ 事業規模及び内容: サバ州政府内の首席大臣府に属し、州都コタキナバルにある 地産開発センターに70人余りのスタッフがいる他、サバ州の48区に それぞれ人民発展指導局を設けている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 村落改善センターは隊員の住居兼事務所として建てられ、 各隊員の居室の他に会議室・台所・倉庫等の設備を備えている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 村落改善普及員					
② 技術の範囲: 食用作物一般についての知識と特に野菜栽培に関する経験。					
③ 業務の形態: 現地の農業局と協力体から、対象地域の農業事情に 応じて現金収入源となる新作野菜栽培を村人に指導していく。 手法としては村田に共同の展示農圃を設け、アシスタントを通じて 村人全体に普及させる新作方法をとる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は村人一般で、 カウンターパートは現地の農業局職員及び地元のアシスタント 20代~30代					
⑤ 現地で利用できる機材: 農業機材については現地の農業局の協力を得て 利用できるが、必需品については現地購入する。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在は日本人の協力隊員9名のみ。					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: サバ州村落改善計画は本年度より8名の隊員により クダット地区の2村落で進められているが、本年度以降も他の地域での 発展が期待されているために、今年より8名の隊員を要請し、 新たに本年度より2ヶ所を始めるものである。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学の農学部卒業 かつ2年以上の実務経験が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 20日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Agronomist (日本語) 食用作物	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年3月 (60年度3次隊)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture & Livestock Development (日本語): 農業畜産開発省					
② 隊員勤務先名称: Mitungu Irrigation Scheme 日本語名称(ミトゥング灌漑計画) 所在地: イスタ州、メル県 主要都市(メル)から20キロ					
③ 事業規模及び内容: 西ドイツの資金・技術援助による地域灌漑計画。スプリングラーを使用した計画対象区内300戸の農家の420haの灌漑を行い、綿花、タバコ、メイズ、豆、園芸作物を栽培し、灌漑により5倍の生産力をあげよう事を目標にしている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、倉庫、職員住宅、集会所					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: AGRICULTURAL OFFICER					
② 技術の範囲: スプリングラー使用の灌漑を利用して条件下でメイズ、豆、園芸作物の栽培技術指導及び灌漑設備のメンテナンス。					
③ 業務の形態: 日本の農業改良普及員における現地スタッフへの技術移転並びに農民への栽培技術指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: ケニア国内専門学校(日本の農業高校以下水準)、農民; ケニア国内小・中学校卒業程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特に利用する必要のある機材はない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツ人専門家2名 (Scheme Manager, Resident Engineer)					
⑦ 使用する言語: 英語、スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当灌漑計画には58年4次隊立石嘉裕隊員(農業土木)が配属されており、同隊員の評価が西ドイツ政府からの、非常に高く、今年度末に土木事が終了するが、職種は異なるが、栽培関係の日本人ボランティアを確保したいとの希望が西ドイツ政府側であり、今回の要請がなされた。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 4年制大学農学部以上、灌漑を利用した作物栽培経験のある者(経験2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 8 月 21 日

調査者氏名 浅井善元
 職任 赤星 剛 昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Produccion de gramobasio (日本語) 101 食用作物	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 9 月 (1985)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Recursos Naturales. (日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Region Intibuca - La Paz. 日本語名称(インテグカーラパス局)					
所在地: La Esperanza. 主要都市(ラ・エスぺランサ)から 3 キロ					
③ 事業規模及び内容: インテグカーラパス局には試験場、普及部、試験部、人的資源部がある。その中における試験部にラ・エスぺランサ・デモンストレーション農業計画が組み込まれている。総額約 2 億円の規模である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業技師 (Ing. agronomo)					
② 技術の範囲: エスぺランサ周辺地域に合った食用作物を栽培し他作物との輪作体系を確立させる。					
③ 業務の形態: 私は 2 年間である程度栽培可能な作物及び品種を選抜する予定でいるのでその中でエスぺランサ周辺農家に普及させていきたい。また、自分が作りたい作物を作ることは大いに、こうなると土地は十分にるので何でも試験されたいと思う。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ラ・エスぺランサ周辺の農家を対象にカウンターパートは農業高校卒程度で基礎的知識は一応持っている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特殊なものを除いてはほしいものがある。特に養鶏関係に使うバインダーと脱穀機は購入しもうすぐ来る。ただ今ところ乾燥機がない(今のところ必要ない)くらいでそれほど不自由はない。またほしい物はプロツェクト資金で購入できる。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: アメリカ平和部隊、イギリス					
⑦ 使用する言語: スペイン語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、ホンデュラスでは、養鶏は輸入。また国内で生産されるものは品質に問題がある。そこで養鶏の国内自給を高めるとともに国内で生産される作物の品質改善を隊員に望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 特に学歴は問わないが、一応、農業に関する一般的知識を持っておりかつ自分で作物を作った事のある人を望む。また車を運転する事があるので、普通自動車運転免許取得者、プロジェクトチームである為、協調性のある人。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

61-4

記入 昭和 61 年 3 月 19 日

調査者氏名 吉川 栄二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) RICE CULTURE (日本語) 102 稲作	新規 (交) 替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	12年 4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE AND LIVESTOCK DEVELOPMENT (日本語): 農業畜産開発省					
② 隊員勤務先名称: MIKANZA ZONAL IRRIGATION UNIT 所在地: ムンガ 日本語名称(ムンガ灌漑事務所) 主要都市(ムンガ)から1200キロ					
③ 事業規模及び内容: 同事務所はマナ州、ムンガ州、シアン州、カヤ州の4州と農林省事務所にあり、 約1500ヘクタール、カンガ、チンゴの3つの地域(各地域は約100ヘクタール)を管理する から工事開始予定					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 単相機供給で1200年用は工事用機材が自国から入る。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: プロジェクト-農業技師					
② 技術の範囲: 最良品種を決定するから栽培全般にわたる事項についての指導					
③ 業務の形態: 現場型					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業専門学校卒 25歳~30歳					
⑤ 現地で利用できる機材: 支障のない程度にある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
<p>本国の農業の中心は農業生産の増進を目的としており、規模の拡大が加わり トモに完成させ農民の生活増進を目的としており。 特にムンガ湖周辺には水田農地が多数あり、稲作技術の向上が望まれている。</p>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 大学農学部 出陣前2年以内の経験のある者、大学で行進の東洋語の のよい者は可					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 11 日

調査者氏名

斉藤 誠一 山口県

61-34

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Rice Culture (日本語) 稲作	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture And Water Development (日本語): 農業水資源開発省 (農業局) 東部州農業局					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture 日本語名称(マンゴエ地区農業事務所) 所在地: Jumbo, Eastern Province 主要都市(チパタ)から70キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業局の東部州(人口70万人)の中心として、7つの地区-Nyimba, Katete, Petauke, Chadiza, Chipata(North, South), Mambwe, Lundazi, Chama を所轄している。農業に関する業務全般を事務局長(P.A.O.)が総括し、事業部門においては、各分野の専門官が実質的な業務を					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 持っている。(作物、園芸、家畜飼育、農業普及、土地利用計画等) 7つの地区には農民のための訓練機関が設置されている。					
(2) 隊員の業務内容 Mambwe and Chipata North District					
① 隊員の業務上の地位: 東部州農業局 マンゴエ地区とチパタース地区の稲作普及員					
② 技術の範囲: 稲作一般についての知識、技術。場所によっては、水陸両用の稲が栽培されているので、水稲だけではなく陸稲の栽培経験も要。病虫害についての知識、防除方法について。					
③ 業務の形態: マンゴエ地区のマスンバ農業試験場支場を拠点に、マンゴエ地区の6つのキャンプとチパタース地区の2つのキャンプでの稲作指導及び普及と試験場において、水陸稲の試験栽培に携わる。普及活動は、各キャンプに配属されている農業普及員と協同することになる。試験栽培については、試験場のワーカーに作業を手伝ってもらう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業普及員には、Form 3 or Form 5 卒業後(中学、高校)2年間の専門教育を受けている者と、3ヵ月だけの研修を受けただけの者とする。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。但し2月中に隊員が図案を書いてチパタのワークショップで買ってもらっている千歯こき(脱穀用)とカゴづくり機(茶播用)が完成予定なので、今年中に試用されるものと思う。水分計が3台(日本製)。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語及び現地語(ニャンジャ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マンゴエ地区においては、水稲に何く自然及び土地条件を利用して、稲作を普及させたいとしている。1981年からの3年連続の早ばうと、トラクターの老廃味のための作付面積の低下をおさえ、適正品種の選定を含めて、食料増産を計りたい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴は不問。実務経験が3年以上あることが望まれる。経験者を重視。自然条件生活共に、他より少し厳しいので、丈夫な体の持ち主であること。					
※ 事務局記入					

オーストラリアは、そのことで一歩も進んでいない。ジェンバに通過しなくてはならない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 28 日

調査者氏名 大塚正明

100 箱 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Food Coops (日本語) 100 食用作物	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Health & Social Welfare (日本語): 保健省					
② 隊員勤務先名称: GANTA LEPROSY CENTER 日本語名称(ガンツラ病病院) 所在地: GANTA, NIMBA COUNTY 主要都市(エドバ)から250. キロ					
③ 事業規模及び内容: 西トシ政府の資金援助を受け、重症及び軽症ラ病者 420人 が治療にあたる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 病院、診療所他、長期療養者用家族住宅、工業用製作場 畜舎、農場(水田: 16 acre, 野菜、果樹園: 24 acre) 等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農場責任者(作物担当)					
② 技術の範囲: 箱栽培の知識と経験、野菜、果樹の栽培は未だは尚良い。農業全般にわたる幅広い経験と知識及び農場経営のノウハウ。					
③ 業務の形態: ライ病者の食料自給及び軽症者の社会復帰のための技術指導を目的とした農場を運営する。箱作を主とし、他にフォツバ、ナス、カベツ、パットの野菜、バナナ、パイアなどの果樹類を栽培し、病院の食料を確保すると共に、約80人の患者にも栽培技術を教え、退院後の自活への助けとする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 院長は60才位のアルゴント人女性、農場で働くソバア人(黒首でアカ)は中卒程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: 耕運機(1台)、粉すり機(1台)、脱穀機(1台)、トラップ。					
⑥ 第3国人等の配置状況: アルゴント人、アメリカ人					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 唯一のライ病院であり、経済的困難の折りに、食糧確保の必要に迫られる。現在アメリカ人女性の女性が担当しているが、日本の農業技術に対する期待をよめる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○箱作経験2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 10 日

調査者氏名

杉本 透

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Riziculture (日本語) 稲作	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62 年 1 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secretariat d'ETAT a la Decentralisation (日本語): 地方分権庁					
② 隊員勤務先名称: Centre d'Expansion Rural Polyvalent de Tenghari (日本語名称(総合農村開発センター)) 所在地: Tenghari, Departement de Bignona 主要都市(シカソール)から 35 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業改良普及, 生活改良普及事務所にあたり, 農業, 高産森林, 生活改良等の職員が各省より出向している					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所, 倉庫及び職員住宅から成り, 機材類はほとんどない。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業担当職員(普及指導員として巡回指導する)					
② 技術の範囲: 稲作技術の普及及び助言					
③ 業務の形態: 各農村を巡回する方法で主に農家の婦人を対象に稲作技術の指導を行なう。雨期の雨を利用した稲作が中心であるため, 乾期は野菜の栽培指導を行なうことになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は学歴が殆んどない農民。農業担当職員をパートナーにすることは可能である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 耕運機(KUBOTA K120) 寒冷シャトル 防鳥網 雑草検査器(土壌, 塩分) — J.O.C.V 調産分					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在協力隊員1名(野菜)					
⑦ 使用する言語: フランス語 ショラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は現在米の国内自給体制からは程遠い現状にあるが, カザマンス地方は気候的に増産体制確立の可能性をいめた地域として期待されている。こうしたなかで稲作技術の普及定着化が必要とされている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○稲作経験者, ○大学あるいは専門学校 野菜栽培にもくわしい人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 24 日

調査者氏名 古賀 実

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) RIZICULTURE (日本語) 稲作	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 / 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère du Développement Rural (日本語): 農村開発省					
② 隊員勤務先名称: Société d'Aménagement et d'Exploitation 日本語名称(セネガリ河流域開発公社) 所在地: Yopoukro de Delta (SAED) 主要都市(ST-Louis)から120キロ					
③ 事業規模及び内容: 農村開発省傘下の開発公社で、セネガリ河流域の農業開発を 担当する政府関係機関。本部はST-Louis。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ギレ湖畔開発予定地 200 Ha 灌漑設備。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: SAEDの農業技術者。					
② 技術の範囲: 半乾燥地における稲作技術全般					
③ 業務の形態: SAED職員及びJICA調査団員(小規模農村開発計画)として、 ギレ湖周辺の半乾燥地において、農業実証調査及び農民に対して 普及活動を行う。JICAの南開発調査の一環として協力活動を行う ため、隊員は調査団員に準ずる技量を要求される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: SAED職員及び近隣農民。					
⑤ 現地で利用できる機材: 小規模農村開発計画に係る供与機材。(詳細未定)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: フランス語 > ウォロフ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 北部半乾燥地は南部に比較して、農業開発が遅れており、セネガリ河川の テラマダ完成後は流域の開発可能地は約20%になる。その一環としての 日本による農業プロジェクトに大きな期待を抱いている。					
(4) 隊員の資格条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒 ○経験3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 6 日

調査者氏名 富山 敬, 高津 佳史

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニジェール	(現地公用語) Sélection Riz	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 102 稲作	変替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère de l'Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Institut National de Recherche 日本語名称(ニジェール国立農業研究所) 所在地: Agronomique du Niger Niamey(ニアメ) 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: ニジェール唯一の農業研究機関。 育林, 果樹, 土壌, 作物の4部門に分かれている。配属土壌学(土壌)は土壌部門と同じ場所にある。ニアメ郊外に約15haの実験					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 圃場がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業技師研究員。					
② 技術の範囲: 新品種の育成は行なっていない。新品種の他国からの導入, 選抜が中心となる。					
③ 業務の形態: IRRI, WARDA, IITAより送られてくる多数の品種を実験圃場で栽培し, ニジェールに適した品種の選抜をする。 在来種(浮米)の収集と栽培。 実験圃場で得たデータを研究所で分析し, 年1回の全国会議でその成果を発表するというのが業務のサイクルとなる。 テーマの細かき点の設定は隊員の判断にまかされている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 特定のカウンターパートはいない。上司は短大卒30歳。					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡, ランドローバー					
⑥ 第3国人等の配置状況: 土壌学には59/2高津隊員(病虫害)がいる。交代は6/11休任予定。					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧自給のため少しでも多収量の稲を育成し, 普及させることが望まれており, 稲作技術の高い日本への期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○農学部卒 経歴3年以上が望ましい。 各種資料の分析も行なわなければならないがフランス語, 英語の力が要求される。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 14日

調査者氏名 松尾 邦義

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン 共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	新規	(男) 1人	年 月	
	(日本語) 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Farm System Development Corporation (FSDC)
(日本語): 農工組合総合協同組合

② 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称()

所在地: フィリピンが州内、FSDC組合管轄農地^{5ha} 主要都市 (マニラ) から約 80 キロ

③ 事業規模及び内容: フィリピンが州に 8ヶ所の組合管轄農地 (各約 3000 m²) があり、そのうちの1ヶ所が各種野菜 (緑豆) の生産 及び 栽培技術指導の場となる (1973年10月の4月から2ヶ月の間)。雨期は近隣諸州との野菜作りの干ばつとトレード。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): _____

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 上記組合の野菜生産のための technical advisor or technical consultant

② 技術の範囲: オリンピック、オリーブ、トマト、ニンニク、パプリカ、カボチャ、胡瓜、アスパラガス、花き、といった野菜栽培の園芸的実践的技術知識。

③ 業務の形態: 上記①の立場にあり、FSDC組合、FSDC組合を中心として上記②の野菜生産に指導する。また2ヶ所の同業 (組合員) に野菜栽培の経済的有利性を啓蒙する (育成期)。雨期は近隣諸州 (ブサカ、バネラ、カリス、ケル) の組合管轄農地に野菜生産の技術指導が行われる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農林省農業実践技術 (独米産) と持つ2ヶ所の組合員を主たる対象とする。

⑤ 現地で利用できる機材: _____

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: 英語、マカオ語 (コロコロ語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 組合員を主として農民に経済的インセンティブを与えると同様の比喩の当分の経済的成長と期待する。輸産促進 (export-oriented) を加えて、これらの意義が大きい。上記野菜の野菜、比喩の民間商社を通じて日本の輸出支援。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記②の野菜生産の園芸的実践的技術 栽培管理

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 17 日

調査者氏名 佐尾小省二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Vegetables Growing (日本語) 野菜栽培	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Aklan Agricultural College (日本語): アクラン農科大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称()					
所在地: Banga, Aklan 主要都市(Kalibo)から 11 キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数: 大学約500名, 高校約1500名, 教員数: 約70名 学部数: 3学部 6学科					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: イストラクター					
② 技術の範囲: 実践的な野菜栽培・種子生産技術を修得していると共に果樹一般に関する深い知識					
③ 業務の形態: 学生及びカウンターパートと共に同大学内の遊休地を利用した野菜栽培を行い、モデルファームとして栽培技術を学生に教えると共に周辺農民に普及させる。 これらの活動と並行に遊休機を修復しての種子生産及び小南部落民への果樹野菜栽培技術の普及に努める。 尚、希望するならば授業を担当することも可能である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 種子生産用の乾燥機等の遊休機材はあるが修復を要する。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員(家畜飼育)及び2名の国連ボランティアが他のプロジェクトに配置されている。					
⑦ 使用する言語: 英語、アクラン					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 家畜飼育・果樹栽培プロジェクトは一定軌道に乗っているものの、野菜栽培・種子生産は適当な技術者がいないため今後着手されるが遊休地及び設備の有効利用にかけた期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実践的な野菜栽培及び種子生産技術を修得していること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 15 日

調査者氏名 鈴木規子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Vegetable Farming (日本語) 野菜 (105)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地統合再生公団 (Felcra)					
② 隊員勤務先名称: ジョホール州, ネグリスベラン州, マラッカ州, 日本語名称() 所在地: パハン州にある Felcra 入植地 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: Felcra は大きく分けて 4つの事業を実施している。①州政府による開発がうまく行かずに、国土の再開発②辺境村落隣接地の開発③青年を対象とした入植地開発④既存農山村の再開発・統合の 4事業であり、隊員はこれらの事業					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 再開発された入植地で農業開発に協力する。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 入植地 マネージャー 直属の農業指導員					
② 技術の範囲: 果菜類, 葉菜類, 根菜類等 野菜栽培全般にわたる技術が必要。 市場性・天候による栽培の可能性を見ながら、適作物と選んで栽培指導する。また栽培する					
③ 業務の形態: だけでなく、如何に売るか、如何に12売れる野菜と作るかの応用力が必要。 入植地に於いて、入植者の家庭菜園及び小規模農園と関わり、入植者に直接指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートとして特定できる人物は11名 いる。各入植地に1名 Field Assistant (高卒、野菜栽培経験なし)がその役となる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 10 輪乗用トラクター					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Felcra 入植地は今のほとんどもが、ゴム栽培地であり、現金 収入が低い。よって外部への現金流出を抑えることとともに、余剰生産物を外部に 売って現金収入を得る手段として、野菜栽培の普及に努めている。隊員に求め られているのは“売れる野菜”を作ることである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学農学部又は農業高校卒。(少なくとも野菜(果菜、葉菜、根菜の最低各 一種類)の苗床作りから収穫までの手かけに経験と有ること。)(小型自動 = 運転免許)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 15 日

調査者氏名 金不規子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 105 野菜栽培	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月 62 3	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (Felda) (日本語): 連邦土地開発公団					
② 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称()					
所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: Felda は マレー半島及びボルネオ島のジャングルを開墾し、ゴム、オイルパーム等と植えて入植地を造成している。入植者は主としてマレー人。半島内に 300ヶ所以上ある入植地の1ヶ所あたりの世帯数は 200~400。収穫後のゴム、オイルパーム					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): Felda 事務所が各入植地には Felda を通じて出荷される。植地にあり、農耕用と合弁車輦を若干保有する。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 入植地事務所内の野菜栽培普及員					
② 技術の範囲: 野菜の播種から収穫までの栽培指導全般、熱帯で栽培可能な野菜類の栽培試験から実際の栽培方法と指導をすること。入植地に					
③ 業務の形態: よく植えられるものは、トウモロコシ、キュウリ、カクゲ、ナス等。当初は入植者の自家消費用として家庭菜園的な圃場での作付指導が望まれていたが、現在は入植地内に圃場を作り、野菜栽培を希望する入植者を対象に、換金作物としての野菜栽培と指導することとなる。又必要に応じて Felda 中央研修所に現地スタッフ対象の野菜栽培コースを担当することもある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 入植地事務所のスタッフ。					
⑤ 現地で利用できる機材: 耕耘用にトラクターが使用可能。ポンプも提供される予定。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: この数年、Felda の主要産物であるゴム、オイルパームの国際価格が低落しており、換金作物としての野菜栽培に関心が高まっている。隊員には各入植地に入植者及び Felda スタッフに對して野菜栽培の実践技術を指導してほしいとされている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業高校又は大学農学部卒。○野菜栽培の実務経験を○少なくとも1年は有していること。○(単車運転免許)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和60年6月27日

調査者氏名

石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 105 野菜	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bangladesh Academy for Rural Development (日本語): バングラデシュ農村開発アカデミー					
② 隊員勤務先名称: Comilla Kotwali Thana Central Cooperative 日本語名称(コミラ郡協同組合連合会) 所在地: Association (KTCCA) 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 郡下約400の農業協同組合に対して各種トレーニング、資機材貸出及び販売、ローン貸出等の事業を行っている。又全国の農業協同組合のモデルとして BAROと共に農村開発のための各種セミナーを行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 敷地面積 19エーカー、付属農場水田6エーカー、畑1エーカー、農機具運搬等設備は充実している					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: BARO内では Associate Member, KTCCA内では Dy. Director クラス					
② 技術の範囲: 一般的な栽培技術はもちろんのこと病害虫、種子採種、野菜の流通等幅広い技術が要求される					
③ 業務の形態: ① 農民を対象とした野菜普及栽培指導 ② 付属農場内の野菜デモンストラクションポイント管理 ③ 農民に対する野菜栽培トレーニングの実施(含教材作成準備) ④ 野菜流通システムの改良					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 36才 農業大学卒 昭和58年度に9ヶ月間日本で研修を行っているため技術水準は高い					
⑤ 現地で利用できる機材: 揚水ポンプ、トラクター、トレー					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英国人ボランティア 2名					
⑦ 使用する言語: インガリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コミラには1960年から約10年間日本人専門家が主として稲作技術指導に努めた結果稲作技術水準は他の地区と比べて飛躍的に向上しバングラデシュの植農農業・モデル農業果として注目されている。協力隊はこれまで三代8年間野菜普及の面で協力してきたが稲作中心で野菜流通面で遅れている。一年半の間派遣中で中断した後の再派遣を期待は大きなものがある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴 --- (大学卒(農学部)) 資格 --- 農業改良普及員? あれば望ましい 実務経験 --- 3~5年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名

白鳥清志

105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリ・ランカ	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 新規	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Social Service (日本語): 社会事業省					
② 隊員勤務先名称: Sarvodaya Farm - Kabatawila 日本語名称() 所在地: Subandapura 主要都市(コロンボ)から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: Sarvodaya が所有する約 10 エーカーの農場を ココナッツ、野菜を栽培して行く。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農場のマネージャ及びインストラクター					
② 技術の範囲: 野菜栽培技術全般 他に実技。					
③ 業務の形態: 野菜用とあり、2113 5 エーカーをフルに活用し、野菜を生産すると共に研修コースを用い、農家の子女に指導する。また近隣農家の良きモデルとなる様、農場を整備し農場の自立化を図る。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 諸農具のみ					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
カレボツヤが提唱する農村自立化運動の中において、入植者の多い地区で良き農業経営モデルとあり、また様々な技術の普及に務める。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○農高卒以上 ○経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 7 日

調査者氏名

白鳥清志

105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜	新規 <input checked="" type="radio"/> 替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	61 年 11 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): National Youth Service Council					
(日本語): 国家青年活動評議会					
② 隊員勤務先名称: NYSC Training Centre 日本語名称()					
所在地: Belwood 主要都市(コロンボ)から 120 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業の他に ダンス、音楽のコースがある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 帯野菜を中心とした栽培技術と知識全般					
③ 業務の形態: 10~20名の訓練生に、実技を中心とした訓練を行う。 畜産、養蚕と共に農業コースのカリキュラム作成など、運営も行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: ミニタイラー					
⑥ 第3国人等の配置状況: JOCV 隊員					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
青年の雇用促進, 農村産業育成					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○農高卒以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣・受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 4 日

調査者氏名 坂井 朋史

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ETHIOPIA	(現地公用語) Horticulturist	新規 (交替)	(男) 1 人	61 年 12 月	
	(日本語) 105 野菜		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): A.D.D. (Agricultural Development Department) Min of Agriculture					
(日本語): 農業省農業開発局					
② 隊員勤務先名称: スワイ					
所在地: 首都以南 160km.					
日本語名称(スワイ)					
主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
野菜・果樹の技術指導					
(4) 設備概要(写真添付が望ましい)全敷地面積は 11ha で、うち 2ha が J.O.C.V の畑で作られた野菜のデモンストレーション農場である。J.O.C.V が機材を援助したトラクター・かんがいポンプ等がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: デモンストレーション農場の技術指導者					
② 技術の範囲:					
野菜栽培及び果樹栽培、野菜(トマト、キャベツ、ナス、その他)果樹(カキ、梨、リンゴ、マンゴ)					
③ 業務の形態:					
約 2ha のデモンストレーション農場(農業省自体が経営している部分を含めれば 11ha)の経営及び技術指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
勤続 10 年 短大卒					
⑤ 現地で利用できる機材:					
トラクター、ディゼルかんがいポンプ、その他農機具					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
園芸デモンストレーション農場のプロジェクトで将来的に Training Center を作る計画(農業省の技術者及び農民に対する)があり期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で開くこと):					
自動車免許 農業改良普及員					
実務経験 3 年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 2月 22日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
IT=ア	(現地公用語) Horticulture.	新規	(男) / 人	61年9月	
	(日本語) 105 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 District Agricultural office TAITA / TAVEA Ministry of Agriculture					
① 配属先名称 (現地公用語): District Agriculture office TAITA/TAVEA					
(日本語): 717. 718 農業事務所 (農業・畜産・開発局)					
② 隊員勤務先名称: Wandanyi Divisional Extension Office 日本語名称 (ワナンニ地方農業事務所)					
所在地: Coast pio. TAITA/TAVEA District Wandanyi D. 主要都市 (モバサ) から 200 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業省の地方事務所として、地域、農業の発展、及び技術向上のプロジェクト等を行う。要するに日本の地方農業事務所と同じプロジェクトとしている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): Officeは町の中にある。近に F.T.C (Farmers Training Center) が office から 5km 離れたところにある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Horticulture Officer として配属されている。					
② 技術の範囲: 業務は野菜栽培に限らず、果樹も扱う。特に一般に農民の栽培技術は比較的高い。					
③ 業務の形態: Horticulture Officer として、農家を巡回して、Office のスタッフとともに T.A 等の指導を行う。また F.T.C において果樹 (マカダミアナッツ) の苗木生産の管理も行う。一般的には自分で Project を組み、実行する。政府からまかされた PROJECT は別にある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は一般農民で若者から年配者までさまざまである。カウンターパートとしては J.T.A T.A と一緒に活動している。TA は英語がわかる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在 協力隊事務所から トラクター、ポンプなどを支給されている。ほかは別にある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: District Office には 11 人のボランティアがいるが、私の事務所にはいない。					
⑦ 使用する言語: Office 内 英語 field では スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 私のいる TAITA は TAIW HILL にあり、雨が多くハイポテンシャルな地域で、野菜生産に対する可能性は大きい。また地域住民 (タワ族) は新しい技術を受け入れる性格を持っている。特に日本に対する期待も大きく、日本の技術と知識をほしい。これは私と 4 代目自らが農業発展のために高い目的を感じる必要がある。今後新しい隊員を受入れる必要は十分にあると思う。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <u>大学卒業 (農業関係)</u> 、実務経験 2-3 年あるとうがいい。特に果樹の知識等 農業一般知識が心算上思われる。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 13 日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) HORTICULTURE (日本語) 野菜 105	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture & Livestock Development (日本語): 農業畜産開発省					
② 隊員勤務先名称: Kibwezi Divisional Agricultural Office 日本語名称(キブヰヰ地区農業事務所) 所在地: Mwachakos District, Kibwezi Division 主要都市(ナイロビ)から 200 キロ					
③ 事業規模及び内容: キブヰヰ農業事務所はマチュウスタリクト内キブヰヰディヴィジョンの農業活動全てを管轄する。ディヴィジョンの面積 100km ² 内にアケリに注ぐアケリ川があり河川沿いで灌漑を行って輸出用野菜栽培が行われている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 4年制大学; Agricultural Officer, 4年制大学以下; Technical Officer					
② 技術の範囲: 日本では有利な野菜の栽培技術であり、その野菜栽培に関する普及活動を行う。日本では理論(農業)を習得し、その技術を栽培技術の普及を行なえる。					
③ 業務の形態: ディヴィジョン農業事務所所属のスタッフとしてアケリに注ぐアケリ川沿いで輸出用野菜(オクラ、ナス、カボチャ、トマト等)を栽培する農家に対して、栽培方法の確立を目指し普及活動を行なう。同時にケニア普及員に対して技術教育を行ない、普及の模範を示す。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート、農民其技術水準は低い					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語, スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マチュウスタリクトの大半は半乾燥地であり、キブヰヰディヴィジョンの野菜栽培は数少ないマチュウスタリクトの農業活動の一つで、マチュウスタリクト内で生産される野菜の多くは当地にて生産し、農家に現金収入をもたらしている。園芸作物市場開発: 問題をかかえるケニアに、市場問題を考慮せずに園芸作物栽培を続けられるような地域の一つであり、ケニア政府としても今後の発展を期待している地域である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <input checked="" type="checkbox"/> 4年制大学農学卒業以上: 実務経験のあるのが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

60-31

記入 昭和 59 年 8 月 20 日

調査者氏名 吉川浩史

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) HORTICULTURALISTS (日本語) 105 野菜	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF STATE PRESIDENT'S OFFICE (日本語): 大統領府					
② 隊員勤務先名称: CAPITAL DEVELOPMENT AUTHORITY 日本語名称(首都開発公団) 所在地: N/A 主要都市(クワナム)から約500キロ					
③ 事業規模及び内容: クワナムからタイに遷都宣言して10年 現在各国からの協力を以て完成 に向けて建設中である。当国最大の都市建設が行われつつある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添資料(CDAに属する)参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術スタッフ					
② 技術の範囲: 当地域はタイの中でも最も乾燥した地域で年間 500mm~900mm 程度 である。当地域の住民は野菜を中心に作物栽培に於ける食料の供給					
③ 業務の形態: 中心的存在となる。 1. 比較的少量の野菜から乾燥地果物の栽培に関する知識と経験が必要となる。 当地域の主要な作物はアム、ホトトゴシを中心として野菜等作物栽培とあり、 トウモロコシやキャベツ、ナス、ピーマン、トマト、ジャガイモ、ダイダイ、 程とあり昼夜の温度差が大きい水の問題を解決出来れば野菜作物の栽培が可能					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ遊園育苗センターの隣に小規模に 栽培されている。カリン、バナナを育成している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 野菜栽培のための簡単な作業道具はタイにあり、水灌漑システムは機械 はない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 当国には才力強い人材は少なく、CDAには数人の専門家も派遣されている。					
⑦ 使用する言語: 英語、スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
当地域には充分な野菜供給が確保できず、食糧不足の解消に貢献したいとの期待がある。 また、地域におもむきのある人材の育成も期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
専攻学校は総合大学で、大卒である。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 20 日

調査者氏名

奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Horticulture	新規	(男) 1 人	62年4月	
	(日本語) 野菜 105	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 THE OFFICE OF PRESIDENT AND CABINET					
① 配属先名称(現地公用語): MALAWI COUNCIL FOR THE HANDICAPPED (日本語): 大統領府マラウイ身体障害者福祉協会					
② 隊員勤務先名称: MAGOMERO FARM 日本語名称(マゴメロ農場)					
所在地: マゴメロ 主要都市(ブランタヤ)から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 職業訓練校の付属農場として 6.5ha の農場で野菜栽培を行い 訓練校のみなさん、民間市場への物供給により収益をあげる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: FARM MANAGER					
② 技術の範囲: 野菜栽培全般。労働者の人事管理能力。					
③ 業務の形態: 野菜を栽培し、出荷までの管理を行う。マラウイ人の野菜に対する嗜好は保守的である。したがって、常に市場性のある品種を試験栽培して、販売網を整備するといふ、農業協同組合的要素が強い。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 労働者 21 名					
⑤ 現地で利用できる機材: 農耕具一般、トラクター、耕運機、かんがい設備					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、チンワ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 協力隊の支援により、充足した本農場であるが、マラウイ側の予算的措置も思わしくない現状であるが、果樹隊員の赴任が決定し、再度協力隊側でも計画の練直しを計っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学系学部・大学卒業以上、実務経験があることが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和61年2月19日

調査者氏名 大越義英

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル 共和国	(現地公用語) Culture Maraichère (日本語) 野菜	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年〇月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Assistant Départemental de Centre d'Expansion Rurale (日本語):					
② 隊員勤務先名称: Préfecture de Kolda 日本語名称(コルダ県)					
所在地: Région de Kolda 主要都市(Ziguinchor)から190キロ					
③ 事業規模及び内容: Assistant Départemental de Centre d'Expansion Rurale 略してAD/CER は各郡から寄せられる要望及び問題解決という役割は有るが、実質的な事業内容は皆無に等しい。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): Préfecture (県庁)に事務所として机が用意されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: AD/CERの職員であり、上司であるCERの長の下に位置する。					
② 技術の範囲: この地方の農業の栽培可能は雨期に行われるトウモロコシ・ミル・綿花・乾期における野菜栽培に大別されるので、業種(野菜)のみならず、基礎的技術が必要。					
③ 業務の形態: 各村に在る野菜栽培グループ及び、規模プロジェクトへの円滑な運営及び栽培技術面での巡回指導が主な業務。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特定のカウンターパートなる人物はいない。しかし、村を巡回する際は、現地農業機関の職員が手助けしてくれる。質的水準は良。					
⑤ 現地で利用できる機材: 牛、ロバ、片手鋤を使用して農耕を営んでいる現状を考慮するならば、隊員が活動するにあたっての使用機材は現地にあるものでほぼ足りると思われる。Koldaに不足のものは隣の州 Ziguinchor 及び首都 DAKAR で調達可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: Agriculture de CERにフランス人一人。協力隊員男女二人。					
⑦ 使用する言語: フランス語、ポル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 先進諸国からの援助及びセネガルのプロジェクトによって食糧増産が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 赴任地 Kolda の農法が牛、ロバを中心とする農耕であることと考慮するに、日本における現代農業の視点に立ちつつも、現地の農業を改良しようとする応用才を有する人。即ち、実務経験豊富な人。 専門(農業高校)卒以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 1 月 27 日

調査者氏名

相川 英紀

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Makarhache	新規	(男) 1 人	62 年 3 月	
	(日本語) 105 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Secretaire D'Etat à la décentralisation					
(日本語): 地方分権庁					
② 隊員勤務先名称: Centre d'Extension Rurale 日本語名称 (農村開発センター)					
所在地: Fatick 州 主要都市 (Dakar) から 145 キロ					
③ 事業規模及び内容: Fatick 州内の 6 つの郡を担当し、各郡の C.E.R. の取組 とともに 農業普及を行う					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所 1					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 野菜、果樹を中心とする 農業改良普及員					
② 技術の範囲: 乾季を中心に 野菜、果樹の普及改良を行う。又、農業機械の 保守、管理を行うこともある。					
③ 業務の形態: C.E.R. の 農業担当普及員として Fatick 州内の農家に 野菜 果樹の普及改良を中心として 巡回指導を行う。 勤務時間は 8:00-12:00 15:00-18:00					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農民、婦人が対象者になる。カウンター パートは存在しない。					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、ポンプアップ、耕犁機、動力噴霧器					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカン ヒースロー、ベルギー人 (別機座)					
⑦ 使用する言語: フランス語、ワロフ語、セレ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
セネガルは、雨季の落花生、シシの栽培は、一定定着しているが乾季の野菜栽培 はあまり行われていないのか。現状である。そのため農家の現金収入は少なく都市部 との格差も大きい。そこで乾季に収入を得るための野菜栽培の普及が急がれている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○野菜、果樹の実務経験 2年以上。○自動車運転免許。熱帯果樹の知識 が必要。農業機械の整備ができることが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 8月 16日

調査者氏名 伊藤 敦

105 野菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Horticulture (日本語) 園芸作物	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年9月	
(1) 配属先 <i>Secrétariat d'Etat à la Décentralisation</i>					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Centre d'Expansion Rural Polyvalent (C.E.R.P.)</i> (日本語): 拡大研修センター 農村近代化センター局					
② 隊員勤務先名称: <i>C.E.R. de Gandiyou</i> 日本語名称(シニア農村近代化センター) 所在地: <i>Arrondissement de Gandiyou</i> 主要都市(Kaolack)から26キロ					
③ 事業規模及び内容: 各省別志向に、各担当官により管内に於ける農業・畜産・漁業・生活改善・青年活動・組合活動の推進を行なっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 職員宿舎兼事務所が4棟ある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 職員と同等					
② 技術の範囲: 農業全般にわたる幅広い技術を要する。専門的な理論より、実地力や実行力が要求される。					
③ 業務の形態: 数ヶ所の村の集団農場に於ける栽培指導及び簡単な経営指導を行なう。今回導入される大型機械の利用による農民の組織化・作業等の共同化を推進せしめることに可能であろう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は農民で仏語を理解する者は少ない。技術水準は低い。カウンターパートは少ない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 首都に於いて、各種の種子、化学肥料、農薬、農器具は購入できる。本邦贈送の実績は有効である。又、単独機材供与によるトラクター、ピックアップ、トラクター等大型機械の利用が可能である。但し、配属先から機材供与を受けるのが難しい。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 管内でベルギーによるモデル農村のプロジェクトが実施されている。					
⑦ 使用する言語: フランス語 ウロフ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業生産に携わる意識が強く生活水準も高いため、大規模な導入に期待している。今回導入される単独機材等の利用により、生産性を向上させ、市場を開拓し、農民の組織化・共同作業の促進を図りたいと期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒、専門学校卒 普通自動車免許、農業機械操作。					
※ 事務局記入 24					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 5 月 27 日

調査者氏名

土賞 美文
白井 芳文

105 野菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Horticulture	新規	(男) / 人	61年5月	
	(日本語) 園芸作物	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <u>Ministere de Developpement Rural</u>					
(日本語): <u>農村開発省</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Le secteur d'Agriculture de Fatick</u> 日本語名称(県農業事務所)					
所在地: <u>Fatick (フアティック州々都)</u> 主要都市(ダカール)から150キロ					
③ 事業規模及び内容:					
<u>Fatick県内(4郡)の農業一般について指導普及活動を行う。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
<u>事務所、車庫、倉庫、修理工場。</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>県事務所付農業技術者。</u>					
② 技術の範囲: <u>農業に際して幅広い知識を持つ必要がある。</u>					
<u>野菜、果樹、穀物等。</u>					
③ 業務の形態:					
<u>郡(県内)へ出向しての普及活動が中心になる。決して事務所勤務にはならない。</u>					
<u>勤務時間 8:00~12:00 15:00~18:00 であるが調整可能。</u>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>実際対象となるのは、農村部の人間。</u>					
<u>カウンターパートとしては、県事務所長もしくは農業担当官(県事務所勤務)</u>					
⑤ 現地で利用できる機材:					
<u>トラクター、耕うん機、ミストダスター、噴霧器、小型トラック、散粉器。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし。</u>					
⑦ 使用する言語: <u>フランス語 > ウォロフ語。</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
<u>農業一般に際する技術指導 特に女性若者に対する野菜栽培が中心の仕事となる。他にマンゴー等、果樹、食用作物の技術を望まれる。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ <u>大学卒業、農業一般の知識も有ること。</u>					
<u>経験(栽培)が多い方が望ましい。</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 1 月 7 日

調査者氏名 橋本 信一郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) (maratchage) Ingénieur agronome	新規	(男) 1 人	62年 1月	
	(日本語) 園芸作物	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère du Développement Social					
(日本語): 社会開発省					
② 隊員勤務先名称: C.N.F.M.E.T.P. de Guérina 日本語名称(農業研修センター)					
所在地: Guérina, Dept. de Bignona, (B.P.24, Bignona) 主要都市(Ziguinchor)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業と畜産に関する国立の研修センターで 全寮制 9ヵ月間の研修コースと同1年間の農業改良普及員(国家資格)養成課程をもつ。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 敷地 100ha: 演習農場(畑) 85ha, 演習林(一部果樹) 10ha。講義棟, 専務棟, 実習作業棟, 倉庫, 学生食堂, 牛舎, 養鶏場, 放牧地等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Formateur 教官					
② 技術の範囲: 主として野菜栽培に関する技術指導。別は果樹についての技術指導も求められる。					
③ 業務の形態: 教室での講義と演習地での実習によって研修生(研修コース)あるいは学生(普及員養成課程)を教える。野菜栽培ではトマト, サラダ菜, オクラ, ニンジン, キャベツ, カボチャ, 大根等を扱う。果樹としてはマンゴー, パパイヤ, バナナ, マンダリン, パインアップル等を扱う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 研修生は16歳以上, 学歴は小学校程度。学生は18歳以上, 学歴は中卒以上。セネガル人教官は4年制農業専門学校を卒業している。					
⑤ 現地で利用できる機材: センター所有の機材は老朽化が著しく 現地在来の農具(スリ, クワなど)を除いて 現在利用可能なものはない。トラクターなど ある種の農業機械については 他機関(U.S.AID)から借用することができる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: センター職員に第3国人はいないが, U.S.AIDの米国人スタッフが出入りしている。					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1986年度から 農業改良普及員養成課程が 増設されることになり, 教官を増員することになった。当センターには これまで2期にわたって獣医師隊員が派遣されているが さらに野菜・果樹を担当する隊員の受入が希望されている。この分野は 市場需要の増大から 有望視されており, 隊員の複数滞在による相乗効果もあわせて 受入国の寄せる期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○農学士 ○普通免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 6 日

調査者氏名 大道 雅夫

佐田 康下 (印)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボネラス	(現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Recursos Naturales (日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Proyecto Demostrativo Agrícola de la Esperanza 日本語名称(ラ・エスペランサ農業プロジェクト) 農 所在地: La Esperanza, Indivuca 主要都市(シゲバヤ)から 90 キロ					
③ 事業規模及び内容: 試験農場 24 ha 内 野菜畑 2ha					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所, ハウス温室 2, 農機具保管場, 修理場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 野菜担当技師 (ingeniero)					
② 技術の範囲: 野菜全般の知識 経験を有し 試験設計, 水肥等の技術指導 は要					
③ 業務の形態: 現地カウンターパートと共同で野菜畑の管理, 試験の実施 将来的には 地域への技術普及を目的					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパートは 農業高校卒で 自身の研究 を始めた 優秀かつ 水準が高い					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター 2台, 耕運機, トラクタ, 脱穀機 他					
⑥ 第3国人等の配置状況: 同じ農業事務所には アメリカ人(研修部隊) 2人 いる					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ボネラスは 3年を経過し 各部門(花卉, 干口, 病害虫, 穀物, 果樹) などに評価を得ており 野菜部門も 試験等を継続し ボネラスにある野菜 の導入と栽培普及や 将来的には 地域への普及が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大学卒業後 2~3年の実務経験の有り					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 30 日

調査者氏名 岸 忠士

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ 共和国	(現地公用語) Cultivos de Vegetales (日本語) 105 野菜	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	61年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語):					
(日本語): ドミニカリハビリ協会					
② 隊員勤務先名称: Centro de Rehabilitacion 日本語名称(リハビリセンター)					
所在地: Santo Domingo 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
リハビリ協会の所有する農地等において同センターの野菜自給及び訓練用として野菜栽培を行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 野菜栽培技術指導員					
② 技術の範囲:					
野菜栽培指導					
③ 業務の形態:					
リハビリセンター職員及びリハビリ患者に対し、野菜栽培の技術指導を行う。					
同センターでは自給用野菜の生産及びリハビリ訓練場所として農地での活動を期待している。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
最前管理職員					
⑤ 現地で利用できる機材:					
必要な機材は用意される。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
なし					
⑦ 使用する言語:					
スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
職員に対する技術指導、研修及び計画実施を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
最学高校卒業以上					
実務経験は求めない					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 2 月 1 日

調査者氏名 小畑 春之

取組番号 105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年9月 61年1次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería (日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Agencia de S.E.A.G. de La Colmena 日本語名称(農牧普及局 ^{ラ・コルメナ} 事業所) 所在地: La Colmena 主要都市(アスンシオン)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: ラ・コルメナ地区及びその周辺地域の農家を対象とした一般農業指導, 畜産指導, 生活改善を行なっている。所長は日系人, 職員にも日系人。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事業所(二階建), ツープス台, バイク(125cc)1台, (50cc)1台					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 園芸技術指導員					
② 技術の範囲: 野菜全般, 特にトマト, メロン, ピーマン, スイカ, 玉ネギ, ツヤガ任 ^{ゴウ} についての栽培技術指導, 土壌検定及び施肥についての指導。病虫害に対する予防・治療, 及び農薬					
③ 業務の形態: の使用方法についての指導。					
1. 園芸家グループ活動の指導(途, ドウ等果樹)					
2. 野菜の試作及び実施への指導(試験及びデモンストレーションをおこなう)					
3. 園芸農家への個別訪問による技術指導					
4. 土壌検定及び土壌改良の指導					
5. 野菜栽培の普及(家庭菜園の普及)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 日系人農業者の技術水準はパラグアイにおいてトップクラス, パラグアイ人は野菜栽培の知識は多く, 使用も少ない。					
⑤ 現地で利用できる機材: なし					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員2名(体育・音楽), アメリカ平和部隊職員2名(男女各1)					
⑦ 使用する言語: 西語, グアラニー語, 日本語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ラ・コルメナは 4 月, 入植50周年を迎える当国最古の日系移住地で現在でも50家族程が主に農業に従事している(人口はパラグアイの方が多い)。三年前, アスツルト道路が完成し, 近郊農業地帯として一躍注目されるようになった。為に消費者の嗜好も高まり良品が売れやすくなり, 当国政府が果菜輸出入を奨励した為, より良質の農産物生産を期待されるようになった。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 蔬果栽培経験者(特に, トマト, メロン, ピーマン, 玉ネギ)。---エ, 3年以上					
○ 技術力に応用の効く者(経験者であれば農高卒可)。○ 土壌に関する知識					
○ 果樹についての知識 (病虫害)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名

駒形光彦

船種番号 105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62 年 1 月 (6/22)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería (日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Agencia de S.E.A.G. de San Pedro 日本語名称 農牧普及局 サンペドロ事業所 所在地: San Pedro de Tcuamandyyú 主要都市(アスンシオン)から400.キロ					
③ 事業規模及び内容: 所長(Ing. Agr.)以下スタッフは獣医師と生活改善指導員の2名。地域の農産物(主体は綿花)の栽培指導, 畜産(酪農, 養豚, 養鶏, 養蜂)指導, 農村婦女子の栄養・料理指導, 農家の衛生指導に従事する。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): エルケル平屋建オフィス一棟, パワースタンプ2台(内, 1台は30CV発電機)。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業普及員					
② 技術の範囲: トマト, レタス, タマネギ, ピーマン, ニンジン等の栽培技術。柑橘類の接ぎ木の技術及び若干の果物の知識が必要。					
③ 業務の形態: 1. 地区内農家の巡回... 家庭菜園の普及, 柑橘接ぎ木による品種普及。 2. 農協(SEAGではない)所属のモル農場の指導... 野菜, 柑橘, 果樹。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパート: SEAG Antonio Coronel 29才 アスンシオン大学及び農協職員30才。実務経験は両者とも乏しい。					
⑤ 現地で利用できる機材: SEAGは特になし。農協モル農場に簡便な農機具。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在, 6/2 橋本(獣医)隊員が在籍中。					
⑦ 使用する言語: 西語, グアラニー語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンジュラス方面においては, まだ野菜を食べる習慣が一般的でなく(この2,3年で急速に伸びる)その栽培も普及していない。為に, ほぼ周年にわたり野菜は首都アスンシオンより輸入している状況にある。野菜栽培及びその食用はSEAGの奨励プロジェクトのひとつであり, 首都近郊における日系農家の野菜栽培の振興に対する当国の評価は十分に高く, 隊員派遣により当該地区を, 一気に向上させたい旨。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(実務経験者) ○(接ぎ木の技術) 果樹栽培の技術, 土壌・肥料の技術					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 2 月 28 日

調査者氏名 川添浩二

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) MANEJO DE VIVEROS	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	INVERNADEROS DE PLASTICO	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 苗床指導 (ビニールハウス)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

- (1) 配属先
- イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIA (IBTA)
(日本語): ボリビア農業技術研究所
 - ロ. 隊員勤務先名称: Patumayo - La - Paz 日本語名称 (パタヤ IBTA 研究所)
所在地: パタヤ村 主要都市からの距離 (グヰより 100 キロ)
 - ハ. 事業規模及び内容: 技術者 3 名 従業員 10 名 近郊農家 200 戸ほど指導
 - ニ. 設備概要: ジープ 3 台 トラック 1 台 宿泊施設 3 名 事務所

(2) 隊員の業務内容:

ビニールハウス栽培指導 維持管理

・ 同地域には広大な土地があり 伊人中心耕作と水不足の状況にある

・ 同地域の土地は至疎の極み 利用するには種々困難を伴うと思われるので

・ 市場に近く 市場性が高いので 是れを研究した地域での事業

従って 急ぎな方針を立てる 是れを急ぐべきである 従って 市場性を調査し 適作を求めゆく

この 隊員の任務となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在 急激に経済悪化がすすんでおり 同国に 2 月 農業開発を 重要課題として取り組んでいる 従って 受入の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校 1 年 大学卒 (申請書に 1 年 大学と記載されている IBTA に 1 年 経験 1 年 以上 いる 青年で 経験豊富であれば可とする)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 3月 14日

調査者氏名 狩野隆俊、高沢清

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Horticultura	新規	(男) 1人	62年 2月	
	(日本語) 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 592 狩野隊員					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Boliviano de Tecnologia Agropecuaria (日本語): ボリビア農業技術研究所					
② 隊員勤務先名称: San Benito - Cochabamba 日本語名称(サンベニート IBTA 研究所) 所在地: サンベニート市 主要都市(エラバンバ)から 36キロ					
③ 事業規模及び内容: エラバンバ州内にある農業試験場のひとつ。圃場面積約70 ha。主として果樹、小麦等の試験栽培を行っている。又、これら果樹、小麦栽培の 支援部門として、病虫害防治の部門がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 井戸2基、ジープ、トラック、 農業機械等のトラクター、小型耕運機 倉庫、事務所					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Ingeniero と呼ばれる 農業技術者					
② 技術の範囲: 野菜全般について幅広い知識と技術が必要。エンジン、タマネギ チャベツ、トマト、芋、多くの野菜を栽培した経験が必要。					
③ 業務の形態: 農場内に於いて、試作を行ない、商作と同一栽培方法を確立 する。勤務時間 8:00~12:00 1:00~2:30 (施肥量等) 同時に周辺農家への普及。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、小型耕運機、ポンプ					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツミッション、スイスミッション					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同サンベニート地域では、ほとんどの野菜栽培が行われてお らず、当地域に野菜栽培を導入してほしいとの事である。又、エラバンバ市周辺には野菜 栽培を行っている地域もあるが、伝統的な栽培技術であるため、それを改良して欲しい との事。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学農学部卒少なくとも2年の実務経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 国際協力事業団
ポート・モレスビー事務所長

記入 昭和 61 年 3 月 17 日

調査者氏名 山下 煥治

野菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Agriculture	新規	(男) 1 人	61 年 12 月	
	(日本語) 105 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Konedobu Group (エニガサ教育局)
(日本語): コネドブグループ

② 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称() _____
所在地: Wapenamanda, Korpam 主要都市("ワパナマ")から 50 キロ

③ 事業規模及び内容: エニガサ政府公認の Non-Formal Education 機関あり。農業を中心とした地域開発を目的としてあり、政府よりの借用地(20ha)に於いて農業活動、青少年育成と行なわれる。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): _____

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 農業普及員

② 技術の範囲: 野菜栽培(特に西洋野菜)に経験のある者2名は十分。

③ 業務の形態: グループ会員(約1000名)に対し、蔬菜と初のユース等の栽培普及、技術指導を行なう。研修生に在る農業開発自治体も協力と要請もあり、併せてワパナマ、コピウム地域内の巡回指導も業務とする。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: _____

⑤ 現地で利用できる機材: 小農具(スコップ等)

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: ビシノ語, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同グループの指導者は日本で15ヶ月の農業訓練を受けた者あり、日本の集約的農業や日本人の勤働ぶりに好感を持ち、そこで協力隊員に助力を期待する。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農業従事者以上 又は 2年以上の経験

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

国際協力事業団
ポート・モレスビー事務成長

記入 昭和 61 年 2 月 18 日

調査者氏名 武下 煥治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Vegetable Growing	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 105 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Vanmak Community Group, Dept of West Sepik (日本語): ヤンマクグループ (西セピック州)					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称()					
所在地: テレフォミン (Telefomin) 主要都市 (Port Moresby) から 250 キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 指導員					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 金鉱山の廃棄が甚し野菜等農作物に対する需要が増えつつありながら、青少年は成り手不足となり、ボランティアの者が少い実情を改善するため、産出となり得る野菜栽培の普及を行ない併せて青少年の健全な育成を図る。 野菜は西洋野菜					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: スキュア、クワ等小農具					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
青少年活動の隊員と共に、地域住民の生活改善を図る事に期待する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 18 日

調査者氏名

山本 昭夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Agricultural Extension (日本語) 農業普及	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): ALABAT COOPERATIVE INCORPORATED. (日本語): アラバット協同組合					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称()					
所在地: ケソン州 アラバット 主要都市(マニラ)から 160キロ					
③ 事業規模及び内容: 組合員869名からなる協同組合の農業・漁業の主体として、貸付、預蓄、販売、指導の一環として陸路を行って、小規模の協力組合ではないが、その内容は評価できる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 報告書も参照されたい。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: EXTENSION WORKER (普及員)					
② 技術の範囲: 農業全般に関する幅広い技術、特に果樹(永年作物)を利用した安定農業指導が出来る技術。					
③ 業務の形態: 協同組合の普及員として、営農指導にあたる。金融関係のスタッフは居るが、実際に栽培技術と指導できる普及員が現在はいないため、良い営農指導を實踐し、ローンの活性化を計っていく。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特に、いい。					
⑤ 現地で利用できる機材: 一般的に農具はある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: タガログ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: アラバット協同組合は、教師の有志があつて構成され、現在に至っている。したがって、組合員(農・漁民)に対する技術的アドバイスは出来ていっているのが現状であり、この技術指導の充実、同時に農民、漁民の収入増につなげる普及活動が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (実務経験)5年以上、農業普及、組合組織作りの知識があれば尚可					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

2

記入昭和58年3月15日

106 果 樹

調査者氏名 小松 紀司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) CITRUS CULTIVATION	(男) 1人	訓練開始 59年 4月
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 1人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年 7月 受入期限59年7月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture			
(日本語): 食糧増産推進省 農務局			
ロ. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate 日本語名称 (東部開発農務局)			
所在地: 東部地域 主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画) (ワシントンを中心とする6地区で実施される)			
ニ. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容:			
① 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。			
② 指定地区の地元農民と対等に栽培の経営を指導する。			
③ 地元農民に苗の移植、育苗、施肥、灌水、剪定の病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つき木等一連の作業、柑橘類園経営者に対する指導、栽培、剪定、割合、除害、施肥、灌水、剪定、病虫害防除、剪定、剪定等について指導する。			
④ 各地区の Junior Technician 又は Junior Technical Assistant の指導者として、対等に J.T. 又は J.T.A. の地元農民となる。			
⑤ 衛生管理			
⑥ 休			
⑦ ネパール語			
* その他の業務として、一般農家(稲作、野菜)の指導の要取とする。果樹の指導については幅広くはならない。果樹を中心とする指導については希望がある。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの気候条件がかなり栽培に適地であり、農民の現金作物としての市場を高く意向がある。技術者不足により本計画通り進めず、日本の先進技術を導入し、計画をより早く進めたい希望がある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
学歴は国語の習得は実際には果樹園での栽培経験が豊富であること。同じ農家経験者以上とする。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 9 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Horticulturist (日本語) 果樹 106	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture (日本語): 農業者					
② 隊員勤務先名称: Dedza Hills Rural Development 日本語名称(デッサ農村開発プロジェクト) 所在地: Project デッサ 主要都市(ヨングワ)から80キロ					
③ 事業規模及び内容: デッサを中心に約3,430km ² の地域に住む農民約41,000人 を対象に農業生産向上のための技術指導, 商性作物の指導及トレーニング がスクールで運営を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 小規模な野菜試験場, 及び農民のためのトレーニング スクール(1回につき2週間のコース)がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Technical Officer (果樹担当)					
② 技術の範囲: 人参, 芋, 小麦, アボカド, ケンパ, マニョ, バナナ等, 温帯, 熱帯性 果樹の栽培技術, 苗木生産					
③ 業務の形態: このプロジェクトでは38名のスタッフがおよ. 村々で農民の技術指導を 行っているが, 隊員はこのスタッフを指導するに当り業務である。 農民を指導するスタッフと共に村へ出張し, スタッフの指導内容を も補佐する。また, 農民へのデモンストレーション用として果樹試 験場の設立にも携わることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: マラウイの農業学校で園芸と野菜を 学んだ35名以上のテクニカルオファサー(35才)を含め, 38名のスタッフがいる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 果樹の生産に必要等基本的用具は備えている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 2名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: デッサ地域は気候的に比較的寒く, 園芸作物の生産が適していること から, 今後農民への指導もこの分野に力を注ぐ意向であるが, 現在 スタッフには園芸作物, 特に果樹の専門知識・技術をもつ者がおらず, この指導, 訓練をする人材が必要となっている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 大学農学部卒(果樹専攻) ② 実務経験5年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 1 月 27 日

調査者氏名

小長谷 裕宝

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル SENEGAL	(現地公用語) HORTICULTURE (日本語) 園芸作物	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	61年10月	
(1) 配属先 <u>Secrtaire d'Etat à la décentralisation</u>					
① 配属先名称(現地公用語): (日本語): <u>地方分権庁</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Centre d'Expansion Rurale Polyvalent</u> 日本語名称(<u>総合農村開発センター</u>) 所在地: <u>Diouloulou</u> 主要都市(<u>Ziguinchor</u>)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: <u>Diouloulou 郡内の 16 の コムニエ の 農業指導</u> <u>職員は 9 名で、その内 Agents Technique des Eaux et Forêts が 1 名, Agents Technique d'Agriculture が 2 名</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>事務所及び倉庫 1 棟, 職員住宅 6 棟</u> <u>井戸 1, 間もなく電気が入る予定</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>農業改良普及員 Ingenieur Agronome</u>					
② 技術の範囲: <u>マンゴの接木, 整枝, バイク, ツォル, バナンの大規模経営</u> <u>野菜栽培</u>					
③ 業務の形態: <u>郡内の コムニエ を栽培から経営可能ならしめるため、毎日</u> <u>バイクにて農民の家に農園におもむき、栽培を指導する</u> <u>一方で、販路の拡大を企てる。</u>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: <u>農民が対象となり、仏語日常会話は</u> <u>できる。Agents Technique は、たいてい仏語を理解し、知識も豊富だが経営感覚に欠ける。</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>セネガル製 鎌, 鋏, レキ</u> <u>はかり (100g ~ 50kg), (10g ~ 1kg)</u> <u>モーターポンプ 1 台</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>無</u> 青年海外協力隊員 2 名					
⑦ 使用する言語: <u>フランス語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>セネガル人は、一般的に経営感覚を有して</u> <u>おらず(宗教的影響大)、したがって計画栽培や作物を</u> <u>商品として扱う感覚が乏しい。これを安定経営を柱として指導する</u> <u>事を望まれている。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>バイク免許要, 熱帯果樹の栽培経験</u> <u>野菜栽培経験 2~3年以上</u> <u>大学あるいは専門学校</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 2月 1日

調査者氏名 小堀泰之



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Horticultura	新規	(男) / 人	61年 / 月	
	(日本語) 園芸作物	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Universidad Catolica					
(日本語): カトリック大学					
② 隊員勤務先名称: Facultad de ciencia y Letras, Carrera de 日本語名称(文理学部農学科)					
所在地: コロネルオベド市 Ciencia Agrarias 主要都市(アスンシオン)から132キロ					
③ 事業規模及び内容: 同大学の文理学部がセシヤリガ市にあり。2年前に農学科と教育科がコロネルオベド市に開設された。農学科は作物、畜産、獣医、農牧普及の4つの専門課程の開設と予定しており、現在1年生20名、2年生21名が在学している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教会内の仮設校舎で教養課程の授業が行なわれているが、専門課程の施設については、附属農場も含めて、青写真の段階である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師(大半はingenieroと呼ばれ教師として扱われる)					
② 技術の範囲: 果樹(サン・ホルヘ、ブドウ、マンゴ等)の優良品種の導入と繁殖による市場価値と生産性の向上が一つの課題。果樹と主体に野菜、畜と幅広い知識と応用能力が求められる。					
③ 業務の形態: 同大学 農学科は研究より実践能力を重視しており、地域農民に対する普及活動から生まれる学生の育成が目指している。従って生徒指導のみならず、生徒と共に地域農民に対する普及、啓発活動と展開するものが主要な業務の一つとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は高校生 カウンターパートは決っていない					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在のところ機械らしいものは何も揃っていないが、必要な機材は現地調達可能である。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学は国立アスンシオン大学と共に 当国の最高学府を形成しているが、理料系学部の歴史は浅く、就中、農学科はこれからという段階である。粗放な牧畜を主産業とする当国には、果樹、野菜、花卉栽培といった園芸関係の技術は皆無といっており、これらの方面では、日系移住者の独壇場となっている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(大学農学部 農学科又は園芸学科卒) (語学力) 単車運転免許					
○(実務経験 2年以上): 修士の場合には修士在学期間中と実務経験とみなす。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名

駒形 志彦

取組番号 106

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Fruticultura (日本語) 果樹(柑橘栽培)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年1月 (1/2次)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería (日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Agencia de S.E.A.G. de Mayor OTAÑO 日本語名称(農牧省 19-23 事業所) 所在地: Mayor OTAÑO / ITAPUA. 主要都市(エンカルナシオン)から 200 キロ					
③ 事業規模及び内容: 当地は人口 8000 人、ほぼ全て農業従事者(農家戸数 2000 戸)。特に柑橘類の産地として有名で、現在、作付面積 400Ha。他、綿、大豆、マカ、ハッカなどの作物も多い。事務所員 1 名。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): トラクター 1 台。別添写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 普及事業所職員					
② 技術の範囲: 広く柑橘栽培(含、接ぎ木)の知識・技術。他、害虫及び病の防除に関する知識。→ 特にオレンジ、他少量のミカン、レモン。					
③ 業務の形態: カンパニー・パートとして。農家巡回、圃場(SEAG 所有)管理に従事する。現在、100 戸程が柑橘栽培に従事している(専業ではない)中 16 戸(100Ha)が SEAG により組織されており、これらの農家への技術指導及び販売網の充実に関する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カンパニー・パート: Agustín Cantalicio Olmedo) 27 才、3 ヶ月 4 日の農学校卒。唯一の職員 / 対象者: 20-50 才、知識なし。接ぎ木など経験的にこなしているのみ。					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどなし。高。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 西語, グアラニ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地はパ国の中でも遠隔の地であり、今も電気、電話が通っていない。中央とのパイプはほとんどなく、各種農業政策も、届かない現状である。長年、経験の中で「従事してきた為、現在、栽培・管理技術においては頭打ちの状況であり、隊員派遣によりこれを打開したい意向。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○接ぎ木を含め経験者である ○害虫・その防除、知識・技術所有者 病に係る。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名

駒形 光彦

取付番号 106

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パナマ	(現地公用語) Fruticultura	新規	(男) 1 人	62 年 1 月 (1/2 次)	
	(日本語) 果樹(柑橘栽培)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería					
(日本語): 農 牧 省					
② 隊員勤務先名称: Agencia de S. E. A. G. de Cnel. Oviedo 日本語名称: 農畜産・ ^{コロンビア} 事業所)					
所在地: Coronel Oviedo, Dpto. de CAAGUAZU 主要都市(アスンシオン)から 130 キロ					
③ 事業規模及び内容: カマグエス県(杜邦県と同面積)の西側半分の地域を 6ヶ所 15名の普及事業所の職員が担当。コロンビア事業所を中心に主に綿、トウモロコシ、野菜の栽培技術普及の他、4H77での育成、畜産振興等と携わっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 平屋建オース(400m ²), ツーフロア台(監督官専用と取組用)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 普及事業所職員					
② 技術の範囲: 柑橘類(オレンジ、レモン、ポンカンなど)の栽培技術。特に苗木育成と病虫害防除が中心。					
③ 業務の形態: 本事業所々々の苗木育成圃場の管理と柑橘類栽培農家への巡回指導が中心となる。昨年10月、ブラジルより新品種を導入し、現在、コロンビア各地に普及計画として育苗圃を設置し他に傘下の事業所でもそれを育成している。この普及計画は開始して未だ前もなく現在 S.E.A.G. ではその地域の農民を集めて「苗木育成」を中心に技術指導をしている段階。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: 特に決っていない。対象者: 各年令の農民。					
⑤ 現地で利用できる機材: 果樹用に各種ドリル製缶おろし機あり。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在、協力隊員2名(野菜、生治改善)。					
⑦ 使用する言語: 西語, グアラニ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の柑橘類の収穫期は2月下旬～10月下旬である。しかし、同時期ブラジルから高品質のものが大量に流れ込み国産のものは質、価格の点でそ太刀打ち出来ない。このため、国産品の増産により流入を阻止し、市場を安定化させることと、将来的にはアメリカ合衆国への輸出(ない)が望ましい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○苗木育成についての知識・経験がある事					
○病虫害防除の知識がある事					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 11 月 15 日

調査者氏名

八林 明生

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Mushroom Culture (日本語) きのこ	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地統合再生公団					
② 隊員勤務先名称: FELRA Seberang Perak 日本語名称(フェムラ セーバング ペラク) 所在地: Nua Beta Perak 主要都市(ヒレ-イ-ア-ン)から 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: FELRA 事業の1つとして、環境村兼研修地を開発して、稲作や野菜等の2000エーカーの開発を、85年6月1日約45000人入植予定年2089年迄入植させようとしている。現在700入植世帯。家の完成すれば86年1組の食料カカオバナナ等栽培が始まっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 入植地事務所長付きの普及員					
② 技術の範囲: 稲作や野菜の栽培。一般 French mushroom と同様の技術を授け、目的は、多目的の研修地として、隊員は1から指導することになる。					
③ 業務の形態: 指導者として行う。					
<p style="text-align: center;">✓ 全く経験あり ✓</p> <p>FELRA 指導員下、希望入植者は指導員として研修、材料提供の経験は経験は経験は指導員と併せて。</p>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Field Assistant のカウンターパートと同等の技術水準を有し、経験は限り、年齢は20~30代					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター等農機具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 他に稲作野菜の隊員が活躍(稲作は予定)					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地IFADの中を最大規模開発の1つであり、稲作の自給率100%を目指し、その入ったProject 協力隊の期待を大きい。その中で、稲作の現地には容易に入植できる材料を下に収入増を目指している。深掘り、期待は大きい。特に、その入植者は稲作が多く、収入の低い状況で多角経営の一端としての期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
<p style="text-align: center;">(某の農業大学卒業かそれ以上) 経験3年以上</p>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1021

記入 昭和 59 年 9 月 9 日

調査者氏名

112 きのこ

石川満男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Mushroom culture	新規	(男) 1 人	61年8月	
	(日本語) 112 きのこ栽培	交替 種と前	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 Ministry of Agriculture Department of Agricultural Extension					
① 配属先名称(現地公用語): Food Crops Division					
(日本語): 農業省農業普及局食用作物課					
② 隊員勤務先名称: Mushroom culture Centre 日本語名称(きのこ研究所)					
所在地: Subhambogh Horticulture base Savak Dhaka 主要都市(Dhaka)から約30キロ					
③ 事業規模及び内容: 同農場は野菜種多、果樹苗木生産を中心としている。Mushroom culture projectは、79年より始め、研究所は83年2月に完成した。きのこ類の研究、技術者の養成、農民の研究、村への栽培普及を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究、栽培等に必要なものほとんどある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Farm manager と同等の立場になるが、技術面では指導していく立場になる。					
② 技術の範囲: 各種きのこの種菌製造、栽培が可能。現在は、フクラクケを中心とした生産、販売している。					
③ 業務の形態: ・技術者の育成(カウンターパート) ・農民へのトレーニング、栽培普及 ・各種きのこの実地栽培(キクラゲ、ヒラタケ、種など) ・フクラクケの販売拡大と加工(かん詰め)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Farm manager - 農業大学(4年制)卒、日本研修(きのこ栽培)9ヶ月、30才 Overseer - 農業普及員養成所卒 28才、現在トレーニング中					
⑤ 現地で利用できる機材: 低温恒温器、高圧殺菌釜、顕微鏡、殺菌灯、他、一般実験器具 乾熱殺菌釜					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 2代、5年余りにわたる隊員の協力活動でフクラクケの生産販売体系も確立され、普及活動も始まった。同国でのきのこ栽培の可能性は高い。同国としては、農業の一部門として、発展することと期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業系短大もしくは大学卒 菌類に関する知識を広く有すること。経験 - 1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 15 日

調査者氏名 森 晴之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Mushroom	新規	(男) 人	61年 7月	
	(日本語) キノコの	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture					
(日本語): 農業者クマルタル農業試験場					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture, Division of Plant 日本語名称(農業者クマルタル農業試験場)					
所在地: クマルタル Pathology Mushroom Laboratory 主要都市(カトマंडウ)から 10 キロ					
③ 事業規模及び内容: ツクリタケ, ヒマラヤヒラタケの種菌製造 研究員 8名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 種菌製造室(恒湿室 2, 高圧滅菌機 1), 接種業務室 1, 培地調製室 1, ツクリタケ栽培室 1, ヒラタケ栽培室 1					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: third class officer					
② 技術の範囲: 1) 実験室内及びその周辺: 菌操作と主体とする微生物培養に関するごく初歩的な技術. 2) キノコの調査分類.					
③ 業務の形態:					
1) 種菌製造, 菌床の継代保存, ヒマラヤヒラタケの試験栽培, ツクリタケ, フクロタケの栽培法の改善					
2) 野菜食用キノコの採集, 調査.					
3) キノコ栽培の農家への普及.					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパート: 26才(女性) M.S. Botany (日本の大卒相当), J.I (技術補佐) 25才(男性) I.sc Agriculture (高卒相当)					
⑤ 現地で利用できる機材: オートクレーブ, 黒菌箱, 恒湿培養室, 高圧滅菌機					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
カトマंडウ管内には主としてツクリタケ栽培が急速に伸びつつあり種菌製造が需要に恵まれなかつた。そこで菌操作と指導し種菌製造能力を向上させなければならぬ。この主要な目標は種菌供給センターとして充分機能ができるようにすることである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
生物学専攻大卒以上。経験があればよいが絶対条件はなし。菌操作ができること。種菌供給					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

No. 8

記入 昭和 60 年 9 月 10 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Mushroom Culture	新規	(男) 人	61年 7月	
	(日本語) 112 まのこ	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government, Housing and Construction (日本語): 地方行政住宅建設省					
② 隊員勤務先名称: National Housing Development Authority (NHTDA) 日本語名称() 所在地: Authority (NHTDA) 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: モデルビルダの建設及びコミュニティ・デベロップメント					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲: 実技と豊富なアイデア					
③ 業務の形態: NHTDAのスタッフ、各モデルビルダのコミティーメンバ等々を助け モデルビルダにおける技術訓練、普及、産業育成等の計画を推進し ビルダの自立を図る。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 百万戸住宅建設運動の一環で、家や土地を持た ない人々に自立の道を開くプロジェクト。我々モデルビルダを成功させる のがゆらいで、新しい技術と豊富なアイデアを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業高校又は大学農学部卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 11日

調査者氏名 佐藤辰也

調査者住所 赤松町 町

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Hongo (日本語) きのこ	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	1986年6月頃	
(1) 配属先 Ministerio de Recursos Naturales					
① 配属先名称(現地公用語):					
(日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Sub-Region de la Esperanza 日本語名称(ラ. エスペランサ)					
所在地: 主要都市(ラ. エスペランサ)から 3 キロ					
③ 事業規模及び内容: 普及部門, 人的資源部門, 試験研究部門, 農場が おのづからプロジェクトの試験研究部門には含まれていない					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農場 24ha. 宿泊施設 事務所 食堂等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業技師 (Ingeniero Agronomo)					
② 技術の範囲: マンニルム栽培及び試験 樹木を利用したきのこの試験					
③ 業務の形態: 試験場のプロジェクトの一端として マンニルム, シイタケを 試験栽培する 又 現地産きのこの研究.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 我がプロジェクトチーム 6名 および カウンターパート 4名がおり, 専任派遣される					
⑤ 現地で利用できる機材: 種菌製造器具はラ. エスペランサにはよく首都の 同じ資源省内の獣医士の実験室を借りて製造出来心配無し. 栽培の段階で必要なのはプロジェクトの予算で賄える.					
⑥ 第3国人等の配置状況: アフリカ平和部隊					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 背景: 我がプロジェクトは, 日本政府から天然資源省 への援助金の有効な使用のため提案された. それを無駄にすることなく 模範農場を設立維持するために隊員の常駐配置が望ましい. 期待: マンニルム栽培の期待はあは感じている すでに何人かが教える ほういよ. 同いあわせている					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○普通自動車免許 ○マンニルム, シイタケ栽培経験者 ○種菌製造可能者 農学について詳しい人. 学歴は内閣制					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 6 日

調査者氏名 馬場 孝秀

坂田 康雄 (調)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Control de plaga y enfermedad de las plantas (日本語) 1/5病虫害	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 7人	62年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Recursos Naturales (日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Proyecto Demonstrativo Agrícola de La Esperanza 日本語名称(イスパランサ農業プロジェクト) 所在地: ラ・イスパランサ 主要都市(サタパヤ)から 90 キロ					
③ 事業規模及び内容: ラ・イスパランサの冷涼な気候を利用し、プロジェクト内各所として、野菜、果樹、穀物、花卉、さのこが試験栽培されており、またそれらに伴う病虫害の防除研究も行なわれている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農場 24ha, 事務所, 研修所, 倉庫					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Ingeniero (農業技師)					
② 技術の範囲: フィールド調査, 実験計画, 実験, データ処理, 結果報告など植物病理学における総合的な能力が必要である。					
③ 業務の形態: プロジェクトで栽培されている野菜、果樹、穀物、花卉において問題となっている病害のフィールド調査及び防除に関する研究を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: なし					
⑤ 現地で利用できる機材: シャーレ, ビーカー, PHメーター, ヒートシート等					
⑥ 第3国人等の配置状況: 平和部隊(アメリカ)					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: このプロジェクトでは、多くの農作物が試験栽培されており、かなりの成果をあげているが、ホンデュラスでは栽培されているから、農作物の導入などもあって、病害防除の面では立ち遅れているのが現状である。従って早急に病害防除法を確立せねばならず、将来的にも極めて重要である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農作物の病害防除関係で3~4年の実務経験のある者が望ましいが、大学及び短大で(植物病理学を専攻した者)でも可。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 12 月 28 日

調査者氏名 鈴木 茂樹、高沢 清

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア 共和国	(現地公用語) Análisis del Suelo (日本語) 土壌肥料	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Regional de Desarrollo de CHUGUISACA (CORDECH) (日本語): チュキサカ州開発公社					
② 隊員勤務先名称: Laboratorio Agrícola 日本語名称(農業研究所) 所在地: Sucre 主要都市(La Paz)から400キロ					
③ 事業規模及び内容: 1985年11月当時州内約600名であったが、経済悪化に伴い減り続けている。州内の農産物増産を目的としているが、まだ歴史が浅く、その活動方針も模索中であり、経済悪化と相まって、その機能を十分に果たしているとは言えない状態である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究所は平屋建てで、土壌肥料部、植物病理部にわかれ、4つの実験室をもつ。現在、JICA・JOCVの技術協力に伴い、内装改築中である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 土壌肥料研究員					
② 技術の範囲: 一連の土壌分析の理論と分析手法。圃場試験及び堆肥等有機質肥料の理論と実地。					
③ 業務の形態: 州全体の土壌調査分析とその結果に対する肥料等の指導という要請であるが、経済面及び交通手段の不備等により不可能である。したがって現時点では、CORDECH内の各ステーションを中心に、研究所の管理も含めて活動することになる。肥料に関しては、ボリビア国内では高価でありしかも種類も少ないこと、またCORDECH自体も大部分を外国援助にたよっており、その年により使用肥料が違ふなどの問題のため、羊、ブタ等の乾糞、堆肥及び有機質肥料の肥効試験により、現地調達可能な有機質肥料の普及指導を研究所を通じて行なっていくことになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 主任と化学分析担当分析員の2名。主任(40才前後)は、大学農学部卒であるが、レベルは低い。分析員(30才前後)は、大学化学部在学中ではあるが、化学実験経験					
⑤ 現地で利用できる機材: ①の知識を有する。 一般化学実験用ガラス器具、PHメーター、ECメーター、イオン交換器、定温乾燥器、原300米炭灰計、比色計、遠心分離器、振とう器、直立天秤、ドラフト、現地三相計、マンセル比色帳、顕微鏡(植物病理用)等					
⑥ 第3国人等の配置状況: 短期にフランス、韓国等ミッション、1名ずつ					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、経済悪化の中、従来の土壌研究所に植物病理部(JICA管内)を併設し、新たに農業研究所とした。そのため、土壌肥料部にも多数のJOCV隊員供与があり、その使用管理のため、また州内唯一の農業研究機関(州内大学農学部にも実験設備はない)であるので、その研究施設の充実に期待されている。また、JICA・JOCVとCORDECHで普及活動のため、モデル農場を作る計画もある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学農学部卒業程度で、一連の土壌分析ができること。圃場試験か農業経験者が理想的である。(有機質肥料に詳しい人)					
※ 事務局記入					

記入 昭和 61 年 3 月 15 日

調査者氏名 山下 修治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パプア ニューギニア	(現地公用語) soil and fertilizer (日本語) 116 土壌 肥料	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1986 年 7 月 12	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Wan Ecology Institute					
(日本語): ワウ生態研究所					
② 隊員勤務先名称: Wan Ecology Institute 日本語名称(ワウ生態研究所)					
所在地: Morobe province, Wan 主要都市(Lae)から150キロ					
③ 事業規模及び内容: 3ニースタッフ12名, labours 37名, 研究費, 人件費等35000の事業者と約50haのコーヒープランテーションからの生産収入及びホステルの収入に依存する。動植物の生態調査が主で最近初めた研究課題として土壌と水。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): メインオフィス, 図書室, 乾燥標本室, 理化学実験室, 研修ハウス, スタッフハウス, ホステル, 動物園, 付属農場, コffee加工場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Soil Conservation Project a Project リーダー					
② 技術の範囲: 土壌, 水に関する分析一般技術, 250kg 植物の無機分析及び土壌フィールド調査の技術も併せて					
③ 業務の形態: 当国に未だ僅少な土壌浸食についての物理及び化学的データの収集, 当国で主な一次産業であるコーヒー生産, 林業より必然的に残ったコーヒー皮, オガクスの有効利用に関する研究, 水質汚染と物質循環系と確立させるための研究, 及び一般に依存する分析サービスの推進業務に従事する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 現在なし. 近日常にカウンターパート(大学卒業)と得る予定					
⑤ 現地で利用できる機材: '86年4月予定で日本より原子吸光度計(島津土壌作物体総合分析機), イオン交換を含む機器, 用具が到着し, 土壌, 植物, 水に関する一般分析が可能になる見込み。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 研究所スタッフとしてはオランダ人1名, 滞在研究所はオランダ人ドイツ人					
⑦ 使用する言語: 英語及びビジネスマン英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: '85年に完了した Soil Conservation Project と推進させる Project リーダーとしての受入希望があり, 深刻化しつつある土壌浸食に関する研究, 研究データの未だ少ない土壌一般に関する研究, コffee皮, オガクスの有効的処理問題の解決策の研究等に対する受入国の期待度も高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農芸化学科 土壌学 あるいは農業土木科 土壌学 あるいはこれらに類する学問を修めた者で大学卒業以上。できれば2~3年の実務経験を学卒後に修めた者。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

721

記入 昭和 59 年 3 月 15 日

調査者氏名

120 農業土木

松尾 邦義 (JICA マニラ事務所)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン 共和国	(現地公用語) Civil Engineering (日本語) 農業土木 (or 土木工学)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 可及的速やか	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Central Luzon Polytechnic College (日本語): 中央ルソン工芸大学 (工学部)					
② 隊員勤務先名称: 上記大学の "College of Engineering" (5年制) の土木 (日本語名称:) 所在地: Nueva Ecija (フィリピン) 州の Cabanatuan 市 主要都市 (マニラ) から 北 110 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同大学から今回同様の出先で "College of Community" (2年制) の "工作機械" "軍事整備" と異なり、5年制の土木のコースがあることから、実技と 合わせて、土木工学についての理論も重視される。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 上記大学 土木工学科 講師					
② 技術の範囲: 土木工学全般への理論知識、特に水理工学 灌漑工学への応用 測量、 土壌学についての理論と実技、5年制の工学科のコースの中で最もホビーコース					
③ 業務の形態: 土木工学科である。"water distribution & utilization" のマニラ 作成が特に期待されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 土木工学部 新卒生 17 人。 同科の講師数 25 名。十分隊員のカンパニオンに期待できる教員もいる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水理工学の基礎実験設備 測量材料、土壌検査用経管等その他 材料工学、機械工学と関連する用途分野の機材は、一部不自由な程度に あり、いる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
特に農業州である Nueva Ecija (フィリピン) 州で、水管理技術者供給の 必要性から、期待は大い。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
(5年制大学の土木工学科) 又は (農業工学科) 以上 語学堪能					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 4 月 24 日

調査者氏名 森 靖之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Agriculture Engineering	新規	(男) 1 人	61年7月	
	(日本語) 120 農業土木	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Department of Agriculture (日本語): 農業省 農業局(農業シニアプロジェクト)					
② 隊員勤務先名称: Area Agriculture Project 日本語名称(農業シニアプロジェクト) 所在地: カトマンズ 3村(マヒタワン、アコット、バルフ) 主要都市(カトマンズ)から 53 キロ					
③ 事業規模及び内容: 野菜、食用作物、農業土木の3職種。隊員が4人で110-4カール一帯の農業開発の促進の貢献をする。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 隊員の技術程度により相手側の対応も異なるが III class officer に近い					
② 技術の範囲: 小規模かんがい用水路の設計、施工を中心とする。					
③ 業務の形態: 従来の大型農業プロジェクトの様は多投資で効果を求めようとするタイプのものではなく、グランドレベルで地域に密着し、開発の促進を行おうもの。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
シニアプロジェクト内の農民をカウンターパートとする。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 首都カトマンズ住民への穀物、野菜の供給地として110-4カール一帯を築き上げる農業シニアプロジェクトを成功させることにはネパール政府側は強い期待を寄せている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 協調性及びバイタリティーのある人物で農業高校卒業以上出来れば経験1-2年希望。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 / 月 / 日

調査者氏名 新澤彰夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Irrigation Engineer	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 120 農業土木	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Min. of Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Agriculture Development Dept. 日本語名称(農業開発局) 所在地: Addis Ababa 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全国各州(14州)の農業開発の指導的部局として 農業技術の改善、普及及び生産の増加に あたっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 特に地位は身よりもいか 技術指導員又はアドバイザーである。					
② 技術の範囲: 農業土木に関する中広の知識が必要。 ただし、大規模なプロジェクトは少ないので、高度な技術は必要ない。					
③ 業務の形態: 農業課の技術者とチームを組んで、地方での調査、測量、 かんがい施工のアドバイス等を行う。 本庁においては、これら調査データをもとにして設計、報告書の 作成等を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 本庁では大半若。知識はともかく 実務経験は少ない。地方では農業高校卒。土木での経験者は非常に少ない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 測量機材					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語 (地方ではアムハラ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業省内には土木関係のエンジニアが非常に 少ない。反面特に灌漑の必要性が云われて おり、外国からの技術協力に頼っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高校卒以上 ○実務経験2~3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 2 月 27 日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニヤ	(現地公用語) Agricultural Engineering (日本語) 120 農業土木	新規 交替	(男) 2 ~ 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Energy and Regional Development (日本語): エネルギー地域開発省					
② 隊員勤務先名称: Lake Basin Development Authority 日本語名称(ビクトリア湖周辺開発公社) 所在地: P.O.Box 1516 Kisumu 主要都市(ナイロビ)から約390キロ					
③ 事業規模及び内容: 昭和54年の国の法令により設立された中央のケニア国西部地区のニヤザ州、ウエスト州およびリフトバレー州の一部を含むビクトリア湖周辺地区(全部で15県)の開発計画。予定の総合的企業。調整および実施を行う。職員数約1000人。今年度予算約6億7千万円					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 日本政府昭和58年度分のKR-II援助で提供されたトラクター25台、4輪トラクター5台、スキッドローダー、ポンプ、エンジン、パイプ、スクリュー、各40台分、他エクスカーバー等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業土木エンジニア					
② 技術の範囲: 主要作物である小麦、ソルグム、米等に関するかんがい技術全般					
③ 業務の形態: LBDA職員とともに主として定務中心。Yala Swampの場合約2500ヘクタールの地域のかんがいを予定されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは大半、約30才					
⑤ 現地で利用できる機材: ナイロビでは入手可能だが、LBDAにはない					
⑥ 第3国人等の配置状況: 農業土木の分野にはいないが、他の分野には7人、ドイツ人専門家					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア国第5次5年計画(1984~1988)の主要な柱である地方の開発のために農業分野に力がかかっているが、LBDAには農業土木の専門家の数が少ないために、人材の育成が急がれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 日本の進んだ技術が期待されており、又上記(2)⑥のとおりヨーロッパ人専門家と比較されることもあり得るので(大卒) 英語経験(2年)以上、英語力					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

60-3X
~~35~~

記入 昭和 49 年 8 月 27 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
7-ザニア	(現地公用語) Irrigation Engineering (日本語) 120 農業土木	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 1 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Irrigation Division, Zonal Irrigation Unit. (日本語): 農業省 灌漑局					
② 隊員勤務先名称: Zonal Irrigation Office MWANZA 日本語名称(ムワンザ地区灌漑事務所.) 所在地: Mwanza 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: ムワンザ地区のムワンザ州、マリンガ州、マケケ州、シニヤカ州を受け持ち、灌漑施設の建設、調査、設計、施工、管理を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 大型車 2台					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 灌漑工事現場におけるテクニカルヘッド					
② 技術の範囲: 測量、(水準、平面トランジット等) 水路の設計、施工、維持管理					
③ 業務の形態: ムワンザ州、ウケレワ郡アゴロウ村における灌漑プロジェクトを担当し、水路の建設に從事する。現在は月に2~3回、現場へ外出し、新水路の測量、施工のアドバイスを行い、ムワンザにおいて資材の買付けなどを行っている。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートはムワンザ州農業技術訓練校を卒業し、1年目の年々2年目の年々いる。技術水準は(以下)の要(学歴)の応用が可能な。					
⑤ 現地で利用できる機材: 測量器一式、大型車(ローリー) 2台					
⑥ 第3国人等の配置状況: 北朝鮮より専門家を配属し、1つのプロジェクトを担当している。					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国技術者の技術水準は低く、プロジェクトを遂行するため。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 普通免許 実務経験 2年以上 ○ 大学(農学部)卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

60-13

記入昭和60年2月24日

120 農業土木 佐藤 絵成 (文替)

調査者氏名 佐藤 絵成

112

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Irrigation Engineer	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) , 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限6/年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development
(日本語): 農業水資源開発省 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: National Irrigation Research Station 日本語名称 (国立カニガイ研究所)
所在地: Macabuka, Southern Province 主要都市からの距離 (Lusakaより) 100 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1974年より75年まで西独から資金・技術協力。現在はFAO およびZambiaより技術協力がある。カニガイ研究所となっており、現実に生稲作野菜果樹、カニガイ等の多方面にわたる研究を行っている。

ニ. 設備概要: ホムア、貯水池等がありカニガイを行っている。敷地は約200haの35 95haの試験田場として利用されている。

(2) 隊員の業務内容: 同研究所での業務は主に敷地内での研究、調査を中心とする。具体的には、種々のカニガイに対する適正な灌漑の検討、作物別品種別のカニガイ水量の決定等を行っている。基本的なデータは74年より78年まで西独から入手している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は今農業振興に力を注いでおり、カニガイの改善による食糧増産は是非必要であった。そのための研究蓄積活動を推進するためのカニガイの技術が必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

当研究所においては、実験が主であるため、そのための機械などの経験が望ましい。